

# プロフェッサー講座

## 受講生募集案内



	テーマ	講師名	講座概要
1	「鉄道」ビッグプロジェクト ～鉄道のしくみ深読み～	宮本 昌幸 明星大学 名誉教授	新幹線開発、リニア開発、IT導入の話題を分かりやすくお話しします。鉄道に関する皆様の疑問にお答えし、最新鉄道技術、開発秘話なども紹介します。
2	地球規模で考える「政治・経済」 《前編》幸福の「経済学」 ～ヨーロッパから学ぶ日本の経済～	瀬藤 澄彦 帝京大学 教授	日欧米の社会保障制度・地域経済の活性化・都市空間・持続可能な社会・広域都市連合体・ライフスタイルの特徴などを紹介します。
	《後編》世界「混沌の時代」 ～人類絶滅の前に考えること～	浅井 泰範 武蔵野大学 元教授	核拡散、異常気象、テロなど、人類生存を脅かすリスクが止まりません。世界「混沌の時代」の到来です。現状と未来を考えましょう。
3	「脳」の不思議 《前編》運動で「脳」を鍛える	西島 壮 首都大学東京 准教授	認知症やうつ病など「こころの健康」が社会問題となっています。そこで運動が脳に及ぼす効果を知り、このストレス社会を生き抜く知恵を身につけましょう。
	《後編》「脳」と神経 ～視覚と嗅覚のメカニズム～	中村 整 電気通信大学 名誉教授	画家は無意識に（錯覚など）視覚神経系の特性を利用しているのか？目や脳は情報をどう受容・認識するのか？嗅覚や味覚も含め感覚神経のお話をします。
4	映像人類学から見た「女性観」	巨 純吉 駒沢女子大学 教授	映像フィルムに記録された日本や世界の「女性の生きざま」を映像人類学の視点から女性・家族・社会をキーワードに探ります。
5	「神道」と日本文化 《前編》武蔵国の「神社」	松本 久史 國學院大学 教授	稲城市及び周辺の身近な神社の歴史について、「多摩八社」と呼ばれる古い神社を中心に、その知られざる実態に迫ります。
	《後編》「神道」のはじまり ～祈りの「カタチ」社・神像～	加藤 里美 國學院大学 元講師	原始から古代以前の信仰やまつりについて、祭祀遺跡・遺物を中心に学び、「神道」のはじまりについて考えます。
6	「西洋絵画と建築」の楽しみ方 ～図像学による謎解き～	小倉 康之 玉川大学 教授	西洋絵画と建築の「意味」について、図像学の方法に基づいてお話しします。多数の写真を鑑賞しながら作品を読み解きましょう。
7	「2020」の オリンピック・パラリンピック	森 正明 中央大学 教授	2020オリパラをめざして、これまでの歴史や私たちの関わり事例を紹介しながら、これからどのようなアプローチができるかを考えます。

募集期間 平成29年7月15日(土)～8月16日(水) 必着

※7月30日(日)の講座紹介イベント会場でも申込みができます！

応募者が定員を超えた場合は抽選になります。 ※受講決定通知書・振込用紙は9月上旬に郵送いたします。

【問合せ先】 いなぎ ICカレッジ事務局 (稲城市教育委員会 生涯学習課)

〒206-0803 稲城市向陽台4-6-18 城山体験学習館内

tel.042-370-2822 fax.042-378-3233

受付時間(火曜日～金曜日)10時～16時

いなぎ ICカレッジホームページ <http://www.inagiic.net/>



### 「ようこそ、知の拠点へ」 いなぎICカレッジ学長 日江井 榮二郎

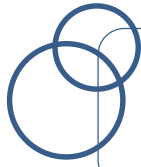
知の源流をたどることは、常に心豊かな充実感をおぼえます。大学の図書館には万巻の書籍が在り、膨大な先人の知恵と知識に圧倒されます。しかも今なお、次々と新たな知見が生まれています。私共はいかにして、これらを吸収したらよいのでしょうか。その昔、兼好法師が徒然草で書いているように、何事にも「先達はあらまほしき事なり」の通りで、その道の師匠の話を書くことは貴重であり、知の何事であるかを知る最善の途であると思っています。

稲城のICカレッジは心と体、自然・科学、

芸術・文化、経済・社会などの諸ジャンルをバランスよく、内容が濃く且つ分かりやすい講義をめざしてきました。幸いにも市民の暖かいご鞭撻、ご要望に応えつつ10年経ちましたが、文部科学省調査でも都市型市民大学の成功例として評価されるようになりました。

今回も理事長・市職員が講師の先生方と十分な話し合いをして、皆様に推薦できる講座になったと思います。皆さんがご持ちの質問・疑問を講師の先生方に直接お聞きできる点も特長の一つです。まずは、講座紹介イベントに是非お越し下さい。

1931年東京生まれ。1953年東京大学理学部物理学卒業。1955年東京大学大学院修士修了後、東京天文台(現在の国立天文台)に入台。乗鞍コロナ観測所に勤務し太陽の研究に従事。1979年東京大学東京天文台教授。1982年乗鞍コロナ観測所長。1988年～1992年国際天文連合日食委員会会長。1992年 明星大学教授、同学長。2005年 アスンシオン大学名誉博士。専門は太陽物理学。2015年いなぎICカレッジ学長(ボランティア)。府中市民。



## 講座紹介イベント(無料)

7月30日(日)14:30～16:30 地域振興プラザ

10月開講「プロフェッサー講座」にご登壇される先生方が、講座の魅力をご各10分程度にまとめて紹介するお話を直接聞くことができます。このイベント会場では、簡単に受講のお申込みもできますので是非お運びください!

### 講座 No.1

### 「鉄道」ビッグプロジェクト (3回講座) ～鉄道のしくみ深読み～

宮本 昌幸 明星大学 名誉教授

第1回は日本の戦後産業史とも重なる新幹線の誕生までの経緯、さらにその後の進化、世界をリードする日本の鉄道の現在の最新技術を紹介いたします。また、ビッグプロジェクトが成功する要因を考察します。

第2回はリニアモーターカーを取り上げます。地下鉄に浮かないリニアもあること、現在建設中のリニア中央新幹線の開発経緯・しくみ・課題について紹介いたします。例えば浮かすしくみは側面で引き上げている等。

第3回はIT(情報技術)の鉄道への導入事例を紹介いたします。ビッグデータ、AIを利用したメンテナンス等。またスイカ開発についても触れます。

- 曜日 第2土曜日
- 時間 10:00～11:30  
※第1回目は開講式のため9:50開始
- 受講料 2,000円
- 会場 iプラザ
- 定員 40名
- 単位数 0.5単位

日程		講座内容
第1回	10/14 (土) 9:50～	「新幹線誕生から現在」 建設決定時の自信度、開業後の持続的改良、開発成功要因、諸外国高速列車との比較
第2回	11/11 (土) 10:00～	「リニアモーターカー開発」 浮かないリニアもある、浮くりニアの種類、リニア中央新幹線の開発経緯・しくみ・課題
第3回	12/9 (土) 10:00～	「鉄道へのIT(情報技術)導入」 省エネルギー、快適、メンテナンス、安全性、座席予約、改札、スイカ開発秘話

### 講師 Profile

宮本 昌幸(みやもと まさゆき)

1970年 東京大学大学院博士課程修了、工学博士、日本国有鉄道・鉄道技術研究所 入社、1991年(財)鉄道総合技術研究所車両研究部長、1997年 明星大学理工学部教授、2001年～2010年 運輸安全委員会委員、日本機械学会名誉会員 2012年プロフェッサー講座第11期「ひと味違った「鉄道の科学」(全6回)  
専門は鉄道車両工学、機械力学、安全工学  
主な著書  
『ここまで来た! 鉄道車両』(オーム社1997)  
『図解 鉄道の科学』(講談社ブルーバックス2006)  
『図解 電車のメカニズム』(講談社ブルーバックス2009)  
『鉄道車両の科学』(ソフトバンククリエイティブ社2012)

## 【前編3回】幸福の「経済学」～ヨーロッパから学ぶ日本の経済～

持続可能なハイブリッド社会に向かう欧州経済の実体を、①社会保障制度 ②都市空間 ③ライフスタイルの観点から日本、北米との国際比較を交えて考察します。そこから「幸せの経済学」の重要性が今、浮き彫りにされます。

日程		講座内容
第1回	11/11 (土) 13:20~	欧州・北米・日本の社会保障制度の比較 少子高齢化・人口動態・福祉国家
第2回	11/11 (土) 15:10~	地域経済の活性化 都市空間・地方行政・持続可能・ハイパー工業社会・ 広域都市連合体
第3回	12/9 (土) 13:30~	流通システムの変革・消費トレンドの変化・ライフスタイルの特徴・家族・男女関係

## 【後編3回】世界「混沌の時代」～人類絶滅の前に考えること～

地球上の総人口は、いまから45年後に、100億人を超える見通しです。水・食料・エネルギーは賄えるのか。資源争奪の争いと地球異常気象で、大惨事が招来されるかも。生存を賭けた人類の英知が試されています。

日程		講座内容
第1回	1/13 (土) 10:00~	地球規模の巨大リスクの現状
第2回	2/10 (土) 10:00~	危機打開への国際政治の現状
第3回	3/10 (土) 10:00~	人類と人間、その英知と希望

■ 曜日 第2土曜日

■ 時間 前編 13:30~15:00

※第1回目は開講式のため13:20開始

(※前編2回目は15:10~16:40)

後編 10:00~11:30

■ 受講料 4,000円

■ 会場 i プラザ

■ 定員 40名

■ 単位数 1単位

## 前編 講師 Profile

瀬藤 澄彦(せとう すみひこ)

帝京大学教授 諏訪東京理科大講師  
パルクラブ(日仏経済交流会)会長など歴任  
早稲田大学法学部卒業、ジェトロ(日本貿易振興機構)アルジェー・パリ・リヨン・モンリオール所長、次長、フランス経済財政産業省対外経済関係局アジアオセアニア課出向 など歴任、フランス国家功績勲章・オールドル・ナショナル・ド・メリット・シュバリエ賞大統領叙勲 2012年プロフェッサー講座第10期「世界経済と日本」(全6回)

主な著書

『フランスはなぜショックに強いのか?』  
(文真堂2017)

『多国籍企業のグローバル価値連鎖』

(単著・中央経済社2014)

論文講演多数

## 後編 講師 Profile

浅井 泰範(あさい やすのり)

名古屋市生まれ。名古屋大学法学部卒。  
1959年朝日新聞社入社。インドネシア、ベトナム、中東地域の特派員を経て、ヨーロッパ総局長(ロンドン)から外報部長、国際本部長、取締役国際担当を歴任。  
1998~2006年武蔵野女子大学(現武蔵野大学)教授。退任後武蔵野大学生涯学習講座講師として現在に至る。  
2014年プロフェッサー講座第14期「『世界中が不安な時代』の生き方」(全3回)。

主な著書

『世界・日本・世界』(朝日新聞社)など。

**いなぎICカレッジ**は、稲城市の主催事業として「生涯学習推進計画・Inagiあいプラン」に基づき、平成15年に開設しました。市民ボランティア理事が企画・運営を担い、受講料で運営している全国でも珍しい市民大学です。「いなぎICカレッジ」の「IC」は「Interactive Community=双方向的な地域社会」の略です。「であい・ふれあい・まなびあい」の精神で、講師・受講生・理事三者が共同で、講座運営することを稲城市が支援する「学びあいの場」です。

市民ボランティア講師による「一般教養講座」と、平成19年に開設しました、近隣大学等の先生方による「プロフェッサー講座」があります。「プロフェッサー講座」に登壇される先生方は、古今東西あらゆる文献を読破・検証し、独自の境地を切り開き、新たな真理・知見を発見してきた方々で、いなぎICカレッジの「IC」にも賛同してくださっています。そのような先生方の講義を稲城市立 i プラザまたは地域振興プラザで聞くことができ、さらに、直接質問ができる醍醐味を是非お楽しみください。

## 【前編3回】運動で「脳」を鍛える

運動は、身体だけでなく脳にも多様な効果をもたらす、認知症予防に最も有効な方法と言われています。しかし、運動が健康に良いことを知っていても、運動を実践することは困難です。そこで、運動（活動的な生活）とは対極にある不活動について知り、心身ともに健康的な生活を送る方法について、一緒に考えていきましょう。

- 曜 日 第3日曜日
- 時 間 10:00～11:30  
※第1回目は開講式のため9:50開始
- 受講料 4,000円
- 会 場 地域振興プラザ
- 定 員 60名
- 単位数 1単位

日 程		講 座 内 容
第1回	10/22 (日) 9:50～	運動が脳にもたらす多様な効果について、古代ローマの格言から最新の神経科学研究の成果まで、紹介します。
第2回	11/19 (日) 10:00～	不活動が脳に及ぼす悪影響について、認知症の観点から解説します。あわせて、自身の身体活動量を把握しましょう。
第3回	12/17 (日) 10:00～	心身ともに健康的な生活を送るためにはどうしたらよいか。不活動の弊害を知る意義など、皆さんと一緒に考えていきます。

## 前編 講師 Profile

## 西島 壮(にしじま たけし)

1978年長野県生まれ。筑波大学体育専門学群卒業、同大学院人間総合科学研究科修了。博士(体育科学)。  
現在、首都大学東京准教授。  
スポーツ神経科学を専門とし、運動・不活動が脳機能に及ぼす効果について研究中。  
趣味・特技はバドミントン。学生時代にインカレ出場(ダブルス)。全日本教職員バドミントン選手権大会・30代ダブルス2位。

## 【後編3回】「脳」と神経～視覚と嗅覚のメカニズム～

感覚神経は生存に無くてはならないものですが、美景・芳香・美味など喜びももたらしてくれます。近年刺激の受容機構や脳での情報処理について研究が進んでいますが、有名な絵画には視覚神経系の特性による錯視的な効果が潜んでいる場合もあると指摘されています。それらの例もご紹介しながら、脳と神経についてお話します。

## 後編 講師 Profile

## 中村 整(なかむら ただし)

1950年岐阜県美濃市に生まれる。車や飛行機が好きな工作少年だったが京大理学部に進み生物学に開眼。1980年網膜の研究で理学博士。一旦企業に勤めた後84年よりイリノイ大学、エール大学、ペンシルバニア大学で博士研究員。1989年電気通信大学に研究室を開設。電気通信学部、情報理工学研究科、情報システム学研究科の助教授・教授を務め、2016年名誉教授。現在同大学脳科学ライフサポート研究センター客員教授として実験続行中。嗅細胞の電気的興奮を担うCNGチャンネルの発見者として知られる。2013年プロフェッサー講座第12期「味覚と香りの神経科学」(全6回)。趣味:登山、写真など

日 程		講 座 内 容
第1回	1/21 (日) 10:00～	光や音、匂い分子、味分子などは感覚細胞に受容されると電気信号が発生し脳に入力されます。その仕組みについて。
第2回	2/18 (日) 10:00～	網膜は“脳の出張所”。光受容細胞の他に数種の細胞が回路を作り情報処理の一部も。それらの仕組みについて。
第3回	3/18 (日) 10:00～	感覚器(細胞)から出力した信号は脳でどのように処理されるのか?視覚系を中心に嗅覚・味覚についても。

## いなぎICCP (Interactive Community College Professor)クラブ

「いなぎICCPクラブ」とは、プロフェッサー講座に登壇された先生方のOB会であり、講師間の情報交換・異分野交流講演会・プロフェッサー講座への講師紹介等を目的としています。

平成19年にプロフェッサー講座が開講し、その2年後の平成21年「いなぎICCPクラブ」は26名の会員からスタートしました。現在会員数は150名です。年に1回寄稿誌「梨のしおり」を出版し、昨年度から希望される受講生に実費配布を開始しました。今期のプロフェッサー講座では、受講生からのリクエストにお応えして、会員の宮本昌幸先生、瀬藤澄彦先生、浅井泰範先生、中村整先生、加藤里美先生、森正明先生の6名が、再登壇してくださいました。

生物としてのオトコとオンナの差異（セックス）が普遍／不変であったとしても、「男であること」と「女であること」の差異（ジェンダー）は文化的・社会的に作られ、概念化されます。文化の違いによる女性の生きざまを描いた内外の映像作品を事例に映像人類学の世界を紐解きます。

日 程		講 座 内 容
第1回	10/22 (日) 13:20~	映像が記録した出来事から文化を読み解くには 映像フィルムの「記録性」とその虚と実について考える。
第2回	11/19 (日) 13:30~	社会の仕組みと女性 トロブリアン諸島の母系社会 母系社会の映像をとおして「文化」とは何かを考える。
第3回	12/17 (日) 13:30~	婚姻のあり方と女性 ガーナ、アシャンテ族 市場を仕切る女性と「男」たちの語る女性像を考える。
第4回	1/21 (日) 13:30~	戦後の農村で展開された、生活改善運動を支えた女たち 社会の変革と「女性の力」について考える。
第5回	2/18 (日) 13:30~	豊かさを求めた高度経済成長と過疎の村と女たち 女性にとって「近代化」とは何か、について考える。
第6回	3/18 (日) 13:30~	超自然的な世界と交わる女性祭司たち 映像が表現する「見えない世界」と女性について考える。

- 曜 日 第3日曜日
- 時 間 13:30~15:00  
※第1回目は開講式のため13:20開始
- 受講料 4,000円
- 会 場 地域振興プラザ
- 定 員 60名
- 単位数 1単位

### 講師 Profile

亘 純吉(わたり じゅんきち)

駒沢女子大学人文学部人間関係学科 教授  
国際協力機構 青年海外協力隊 技術顧問、  
同技術専門委員  
社団法人 映像民俗学の会事務局長  
専門領域は文化人類学、映像民族誌、海外  
協力論



### 単位について

いなぎICカレッジは、単位制の市民大学として開設、運営しています。

1講座3分の2以上の出席で修了証を授与します。

(6回講座の場合は4回以上出席で1単位、3回講座の場合は2回以上出席で0.5単位です。)

12単位修得しますとプロフェッサー講座「生涯学習市民修士」、

30単位修得でプロフェッサー講座「生涯学習市民博士」の学位記を、

日江井榮二郎学長(東京大学・国立天文台名誉教授、明星大学元学長)より、

授与いたします。

### 《博士の特典》

見事30単位習得されました、プロフェッサー講座「生涯学習市民博士」の方は、

「いなぎICCPクラブ」の総会にご招待いたします。

現在、「プロフェッサー講座・生涯学習市民博士」は10名いらっしゃいます。

※「いなぎICCP (Interactive Community College Professor) クラブ」総会では、

大島泰郎会長(東京工業大学・東京薬科大学名誉教授)、緒方博丸幹事長(獨協医科大学名誉教授)を

中心に、大学の先生方も聴講したくなる企画での異分野交流講演会と懇談会を実施しており、文系・理系

様々な専門的な視点から活発な意見交換会が行われています。今年度の異分野交流講演会は、ミツバチ

の世界的権威である松香光夫・元玉川大学教授をお招きして11月に行います。

学位記取得も、一つの目標に愉しく学んでいただけますと幸いです。

## 【前編3回】武蔵国の「神社」（10月・12月・1月）

皆さんは神社について、どのくらいのことを知っているでしょうか。神道や神社はかえって身近な存在なので、わからないことが意外に沢山あります。

稲城市に鎮座する神社を中心に、古代から近代にいたるまでの歴史を、具体的な事例を紹介しつつ講義します。

- 曜日 第4土曜日
- 時間 10:00～11:30  
※第1回目は開講式のため9:50開始
- 受講料 4,000円
- 会場 地域振興プラザ
- 定員 60名
- 単位数 1単位

## 【後編3回】神道のはじまり～祈りの「カタチ」社・神像～（11月・2月・3月）

神道と呼称される以前の信仰やまつりについて、原始から古代以前にかけての祭祀遺跡や祭祀遺物の具体例と一部の文献資料を取り上げながらご紹介します。また、そこから神道のはじまりと特徴について取り上げ、神社へのつながりについても講じます。

日程		講師	講座内容
第1回	10/28 (土) 9:50～	松本先生①	神社って何だろう？古代から現代までの神社のいろは、基礎知識を重要用語の解説を中心にして学んでいきます。
第2回	11/25 (土) 10:00～	加藤先生①	カミなのか？土偶（縄文時代）から神像（古代）までを中心に偶像について取り上げ、カミのカタチについて考えます。
第3回	12/23 (土) 10:00～	松本先生②	古代・中世の武蔵国の神社についての歴史を繙きます。「多摩八社」と呼ばれる古社について、特に稲城市及び周辺に鎮座する神社を関連させて解説していきます。
第4回	1/27 (土) 10:00～	松本先生③	近世の武蔵国の神社について、前回に引き続き皆様の身近なところにある神社の近世の歴史について解説します。
第5回	2/24 (土) 10:00～	加藤先生②	カミはどこにいるのか？カンナビ山（山）について『出雲国風土記』にみられるカンナビ山の記載を中心に、カミの居場所ならびにまつりについて考えます。
第6回	3/24 (土) 10:00～	加藤先生③	社（やしろ）のはじまりやイワクラについて取り上げ、神道のまつりの場について考えます。

## 前編 講師 Profile

## 松本 久史（まつもと ひさし）

栃木県宇都宮市生まれ、國學院大學大学院文学研究科神道学専攻単位取得満期退学。國學院大學神道学文化学部教授。博士（神道学）。

専門は近世・近代の神道・国学史。

主な著書

『荷田春満の国学と神道史』（弘文堂2005）

『神話のおへそ 古語拾遺編』（扶桑社2015）など。

## 後編 講師 Profile

## 加藤 里美（かとう さとみ）

東京都生まれ、稲城育ち。國學院大學大学院文学研究科日本史学考古学専攻単位取得満期退学。元國學院大學研究開発推進機構専任講師。博士（歴史学）。

専門は日本列島・東アジア初期農耕社会の考古学、祭祀考古学。2015年プロフェッサー講座第16期「日本文化の源流を探る『縄文時代』に光をあてて」（1回）第17期「『弥生時代』からの食文化～やっぱり米はうまかった～」（5回）

主な著書

『中国新石器時代における食品加工具の考古学的研究』（國學院大學大学院2002）

『山岳信仰と考古学』（同成社2010）他。

## 「西洋絵画と建築」の楽しみ方 ～図像学による謎解き～（6回講座）

小倉 康之 玉川大学 教授

西洋美術をより深く理解するために、作品の主題や象徴的要素を読み解くための方法である「図像学」について解説します。前半はルネサンス・バロックの絵画を中心に考察し、後半の講義ではロマネスク・ゴシック・ルネサンスの建築や装飾を豊富な写真によって鑑賞しながら、総合芸術としての教会堂のシンボリズムについて考えます。

日程	講座内容
第1回 10/28 (土) 13:20~	図像学Ⅰ レオナルド・ダ・ヴィンチとかくれキリシタンの聖画
第2回 11/25 (土) 13:30~	図像学Ⅱ カラヴァッジョ作《聖トマスの懐疑》を中心に
第3回 12/23 (土) 13:30~	図像学Ⅲ 《キリストの墓を訪れる聖女たち》の図像について
第4回 1/27 (土) 13:30~	建築図像学Ⅰ エルサレムの聖墳墓教会を「読む」
第5回 2/24 (土) 13:30~	建築図像学Ⅱ ロマネスク建築のシンボリズム
第6回 3/24 (土) 13:30~	建築図像学Ⅲ ルネサンスの精華 ～ヴァチカンのサン・ピエトロ大聖堂～

- 曜日 第4土曜日
- 時間 13:30~15:00  
※第1回目は開講式のため13:20開始
- 受講料 4,000円
- 会場 地域振興プラザ
- 定員 60名
- 単位数 1単位

### 講師 Profile

小倉 康之(おぐら やすゆき)

1968年千葉県生まれ。玉川大学芸術学部教授美術史家。早稲田大学第一文学部卒業。東京藝術大学大学院美術研究科修士・博士後期課程修了。博士(美術)。西洋美術史(建築図像学)専攻。横浜美術大学・共立女子大学等非常勤講師、玉川大学芸術学部准教授を経て、2013年より現職。ロマネスク、ゴシック、ルネサンスの美術と建築について研究している。

## 《1月開講3回講座》 「2020」のオリンピック・パラリンピック

森 正明 中央大学 教授

1964から2020へ向けて私たちに何ができるか、これまでの事例を参考にこの講座で考えてみましょう。

大学連携事例では、慶応大学が日吉キャンパスを中心にイギリスの事前キャンプ地になっています。

このような地域連携とオリパラについても考える良い機会です。

- 曜日 第2土曜日
- 時間 13:30~15:00  
※第1回目は開講式のため13:20開始  
※第3回目は15:10~16:40
- 受講料 2,000円
- 会場 i プラザ
- 定員 40名
- 単位数 0.5単位

日程	講座内容
第1回 1/13 (土) 13:20~	1964東京五輪での関わりとその後のアマ・プロ問題。その関連出来事を振り返り、今後のビジョンを考える。
第2回 3/10 (土) 13:30~	1998長野パラリンピックのエピソードを事例に、地域や私たちに何ができるかを考える。
第3回 3/10 (土) 15:10~	オリンピック・パラリンピックで、あまり知られていない事例とメディアの果たした役割について考える。

### 講師 Profile

森 正明(もり まさあき)

福岡県(博多)出身、1952年生まれ。1976年中央大学文学部(社会学専攻)を卒業し、1978年順天堂大学体育学部大学院修了(体育社会学)。2002年より中央大学文学部教授(スポーツ社会学)、現在に至る。30歳まで、全日本7人制ラグビー大会に出場していたラグーマンであり、オーストラリアやニュージーランドのスポーツ文化に触れた経験から、祭の組織とスポーツクラブ組織に関して研究を行ってきた。2007年プロフェッサー講座第1期「祭りとスポーツ」(全6回)。2014年から学長専門員(スポーツ振興担当)。2020オリ・パラ会合に出席。2017年から学生部長。小学校以来の自称「オリンピック博士」。

# 【 募集要項 】

## ◆ 申込み期間

平成29年7月15日（土）～ 8月16日（水） 必着  
 ※定員に余裕がある場合には、〆切後でも受講できます。

- ・定員を超えた場合はコンピューターによる無作為抽選となります。
- ・抽選結果は、落選された方には8月下旬にハガキでお知らせします。（当選の方には、9月上旬に受講決定の通知等を送付します。）

## ◆ 受講料 3回 2,000円 / 6回 4,000円

※中学生以下の受講料は半額となります。

## ◆ 申込み方法（1通で複数講座のお申込みが可能です）

### ① 官製はがきでの申込み

(はがき表面)	(裏面)
<p>62</p> <p>〒 206-0803                      稲城市向陽台4-6-18                      城山体験学習館内</p> <p>いなぎICカレッジ                      事務局 行</p>	<p>①希望講座名                      ②氏名(フリガナ)                      ③住所                      ④電話番号                      ⑤年齢                      ⑥性別                      ⑦受講動機                      ⑧講座をなにでお知りになったか？</p>

### ② 「いなぎICカレッジ」ホームページから申込み

<http://www.inagiic.net/>

「平成29年10月プロフェッサー講座受講生募集」

※お申込みの際にいただいた個人情報は、講座開催・運営及びいなぎICカレッジの催しのご案内のみに利用させていただきます。

## ◆ 受講料の支払い

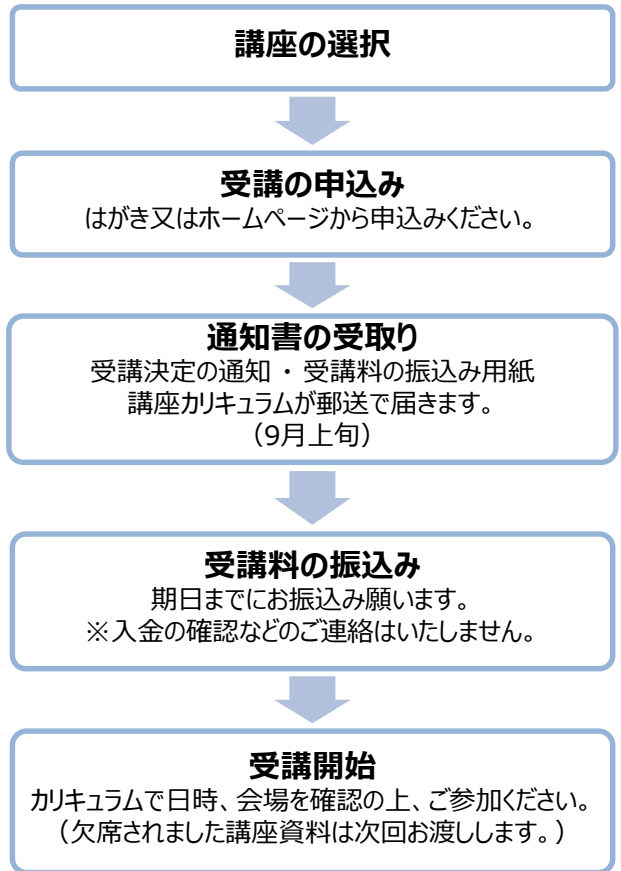
・受講決定の通知を受け取った方は、期日までに同封の振込み用紙又は指定口座にお振込みください。

## ◆ 受講の取り直し

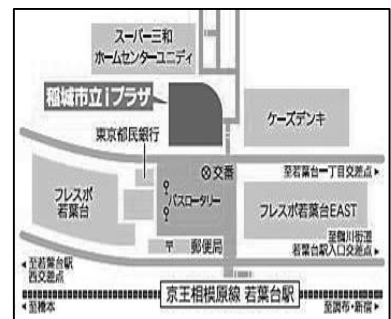
・受講決定の通知を受け取った方で、申込みをキャンセルする場合は必ず事務局までご連絡ください。

キャンセル連絡	受講料の返金
開講日前	500円（手数料）を差し引いた金額
1回受講後7日間以内	1,000円（1回の受講料と手数料）を差し引いた金額
1回受講後8日目以降	受講料の返金はいたしません

## ◆ 受講までの流れ



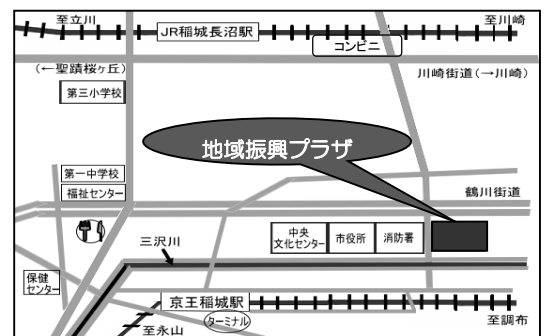
### 《 いプラザ 》



TEL : 042-331-1720

・京王相模原線 若葉台駅から徒歩約2分

### 《 地域振興プラザ 》



TEL : 042-378-2112

- ・京王相模原線 稲城駅から徒歩約10分
- ・JR南武線 稲城長沼駅から徒歩約13分